

PM学会四国支部 2024年6月度研究会記録

日 時：2024年6月12日(水) 13:30~14:30

開催方法：オンライン開催(香川大学様より配信)

主 催：プロジェクトマネジメント学会四国支部

共 催：香川大学創造工学部

後 援：特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

講 師：山中 隆史氏 (香川大学 創造工学部 教授)

講 演：「クラスの「心理的安全性」を高めるための教員チームの取り組み」

出席者：19名

内 容：ビジネス現場でも注目を集めている「心理的安全性」。心理的安全性の高い組織は、コミュニケーションが促進され、生産性向上や人材の定着率向上にも繋がるとされています。「自らの意見を積極的に述べ合う授業」に向けた香川大学創造工学部の教員チームの取り組みと成果を紹介します。なお、本取り組みは、心理的安全性づくりに取り組むチーム・組織を讃えるアワード「心理的安全性 AWARD2023」において、最高位のプラチナリングを受賞しています。

講演後は、質疑応答が行われ、心理的安全性を高めるリーダーの言動の一つ「境界を設けメンバーに責任を負わせる」の“境界”に関する質問があり、山中隆史氏から「リーダーが決めたものではなく、メンバーとリーダーが協議し、そこで合意したポイント」などの確なご回答をいただきました。

The screenshot shows a Zoom meeting window. At the top, a status bar indicates "このミーティングはレコーディングされています" (This meeting is being recorded) and "OK". The main content area displays a presentation slide titled "心理的安全性を高めるリーダーの言動①" (Leader's actions to improve psychological safety ①). The slide lists several bullet points:

- 直接話しの出来る、親しみやすい人になる
- 現在持っている知識の限界を認める
- 自分もよく間違っことを積極的に示す
- 参加を促す
- 失敗は学習する機会であることを強調する
- 具体的な言葉を使う
- 境界を設けメンバーに責任を負わせる

Below the slide, the source is noted as "出所:「チームが機能するとはどういうことか」(エイミー・C・エドモントソン)".

On the right side of the meeting window, a grid of participant thumbnails is visible. The participants listed include:

- 事務局 (山本 晴彦)
- 事務局① (Nobuhisa Katsumata)
- STNet Kawaguchi (山中 隆史)
- MURAI
- STNet 水口 則明
- STNet 富本 晴彦
- 大久保 (中央コン...)
- STNet 吉永 好美
- 藤田 一洋
- STNet 酒井 周次
- STNet 山下和宏
- STNet 山内 理恵
- 久米 洋介 (STNet)
- 佐藤 勇
- STNet 柏原丈二
- STNet/石井貴一郎
- 【発言不可】STNet...
- 佐藤 勇
- STNet 柏原丈二
- STNet/石井貴一郎
- 【発言不可】STNet...
- 榎所敏勝
- STNet 武田
- 榎所敏勝
- STNet 武田

The Windows taskbar at the bottom shows the time as 14:25 on 2024/06/12, with a temperature of 27°C and other system icons.